



文化を軸としたにぎわいと活力の強化

現状

豊島区は、「池袋モンパルナス」や「トキワ荘」に象徴されるように、多くの芸術家を育み、創造的な活動を生み出してきた歴史があります。また、それぞれの地域には、個性ある文化資源が数多く存在し、多様な文化活動が活発に行われています。

特に、池袋副都心は、東京芸術劇場や豊島区立芸術文化劇場（以下、「東京建物Brillia HALL」という。）をはじめとする文化芸術施設が集積し、多彩な文化イベントが開催されています。近年は、マンガやアニメなどサブカルチャー⁷¹の発信拠点となっています。

区は、平成17（2005）年9月に「文化創造都市宣言」を行い、文化を軸にした魅力ある都市づくりに取り組んできました。その成果として、平成20（2008）年度には、東京都内で初となる文化庁長官表彰「文化芸術創造都市部門」を受賞するなど、先進的な文化政策が高く評価されています。平成22（2010）年3月には「豊島区文化政策推進プラン」を策定し、文化による地域力の創造をめざすための指針を示し、文化とあらゆる分野を融合させた政策を展開しています。

また、国においても、アニメやマンガ、ファッション、食、伝統、観光など、国外で高く評価されている日本文化を経済成長に結びつけていく「クールジャパン」政策を推進しています。

主な課題

- 文化を軸とした都市づくりを推進し、都市の魅力を高める取り組みが必要です。
- 培われてきた歴史と文化を継承し、地域の個性を生かしたまちづくりが必要です。
- 国内外の人々を魅了する新たな文化や地域の活性化につながる産業の創造を支える都市づくりが必要です。
- 国内外に個性ある魅力を発信し、多くの人々が訪れる観光都市づくりの推進が必要です。

71 サブカルチャー：メインカルチャー（主流文化）に対し、少数派あるいは一部の層だけに支持されている独特の娯楽・趣味文化

都市づくり方針

1 文化を軸とした都市づくりの推進

- 個性ある地域がモザイクのように集まり、一体となって魅力を発揮する地域特性を生かし、首都機能の一翼を担う池袋副都心の再生と地域の個性を融合させて、東京、そして世界の中でも存在感を発揮する都市づくりに取り組みます。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催とその先を見据えて、国外から訪れる人々を惹きつける文化を生み出すとともに、安心してまちを楽しめるユニバーサルデザインの都市づくりを推進します。

2 国際アート・カルチャー都市を実現する舞台づくりの推進

- 池袋副都心では、東京芸術劇場、豊島区本庁舎、東京建物 Brillia HALL、区立舞台芸術交流センター（以下、「あうるすぽっと」という。）など文化芸術施設の集積を生かして、東京の魅力を担う文化や産業の創造を支える都市基盤の整備や交流、情報発信などの都市機能を充実します。
- 交流拠点では、池袋副都心と連携して、個性ある歴史や文化などの地域特性を生かしたまちづくりを推進します。
- 池袋副都心及び交流拠点では、文化を軸とした都市づくりを推進するため、都市開発の機会を捉えて、文化、芸術、交流、観光、情報発信などの都市機能を誘導します。
- 生活拠点では、地域の文化芸術活動を支える機能を誘導し、日常生活の中で文化や芸術に触れ合えるまちづくりに取り組みます。
- 道路や公園などは、パフォーマンスやアート展示など文化芸術の舞台として活用することを検討し、拠点全体で文化を楽しめる都市づくりを推進します。
- 学校跡地や公共施設での未利用スペースは、地域の文化芸術活動を支える空間としての活用を検討します。

図表107 豊島区本庁舎



3 様々な地域資源を生かしたまちづくりの推進

(1) 個性あるまちづくりの推進

- ソメイヨシノ発祥の地のブランドや巣鴨地藏通り商店街のにぎわい、トキワ荘の記憶など、魅力ある地域特性を生かして、個性あるまちづくりに取り組みます。
- 区民、NPO、大学など多様な主体による芸術文化活動や歴史・伝統の継承活動などと連携し、

地域の魅力を高めるまちづくりを進めます。

- 映画やドラマ、CMの撮影を積極的に受け入れ、地域の魅力を国内外に発信していくために「豊島区フィルムコミッション⁷²（仮称）」の設立を検討します。

(2) 歴史や文化の魅力を演出する景観の形成

- 寺社や文化財、近代建築物、地域で引き継がれてきた民俗芸能、池袋モンパルナスを支えた文化的な土壌などを生かした、個性ある景観づくりを進めます。(P84)
- 商店街をはじめとする商業業務地でのにぎわいととも、地域で生まれ、受け継がれてきた祭りやイベントなどの地域資源を活用し、人々の活気が感じられる風景を演出します。(P84)

(3) 大学や専門学校などと連携したまちづくりの推進

- 「区と区内大学の連携・協働の包括協定」を締結した大学や数多くある専門学校など教育機関と連携して、大学と地域、学生と住民の交流を促進し、文化芸術活動の活性化や地域コミュニティの形成などに取り組みます。

4 文化を基盤とした産業の活性化

(1) 東京の国際競争力を支える都市づくりの推進

- 平成26（2014）年4月に策定された「豊島区産業振興指針」に基づき、歴史ある池袋モンパルナスやマンガ文化に加えて、新たな文化芸術の核となる映像や音楽、娯楽など創造的な産業を池袋副都心の再生を牽引する産業のひとつに位置づけ、新たな活力を生み出す都市づくりを推進します。

(2) 商店街の振興

- 空き店舗を活用したスタジオやギャラリー、個性的な専門店の誘致、道路空間を利用したオープンカフェ等の設置、特色ある景観形成、無電柱化の推進など商店街の活性化に向けた取り組みを支援します。
- 産業、文化、観光、福祉、子育てなど関係する分野が連携し、時代の変化に応じて、商店街でのソーシャルビジネス⁷³やコミュニティカフェ⁷⁴など新たなビジネスの展開を支援するとともに、高齢者や障害者、子どもの見守り、子育て支援、観光など地域が抱える課題の解決に向けた拠点づくりを進めます。

図表108



画像提供：一般社団法人 豊島区観光協会

図表109
立教大学のイルミネーション



画像提供：立教大学

図表110 コミュニティカフェ



画像提供：oyako cafe picnic

72 フィルムコミッション：映画、テレビドラマ、CMなどのあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための非営利公的機関

73 ソーシャルビジネス：環境・貧困といった社会的課題をビジネスとして事業性を確保し解決する活動

74 コミュニティカフェ：地域交流の場として様々なイベントを通じて人々が集まり、つながりを広げることができるカフェ

5 観光創造都市づくりの推進

- 平成31（2019）年3月に改定された「豊島区観光振興プラン」による取り組みと連携し、観光創造都市づくりを支える都市基盤の整備を進めます。
- 鉄道駅及び駅周辺では、ユニバーサルデザインによる駅施設の整備やまちづくりを推進し、外国人を含む誰もが観光を楽しめる都市づくりに取り組みます。
- 令和元（2019）年6月に策定した「豊島区案内サインガイドライン」に基づき、防災、交通、福祉、文化、観光など関係分野が連携して、分かりやすいサイン表示の整備を進めます。（P 66）
- 新たな移動手段の可能性として、観光に訪れた人々の利便性を高め、環境に優しい移動ツールの一つであるサイクルシェアリングの有用性を検討します。（P 74）
- 国内外から訪れる人々を迎え入れ、もてなす観光情報とともに、まちのルールやマナーを含めた案内情報の提供に努めます。

図表111 都市づくり方針図(文化)

